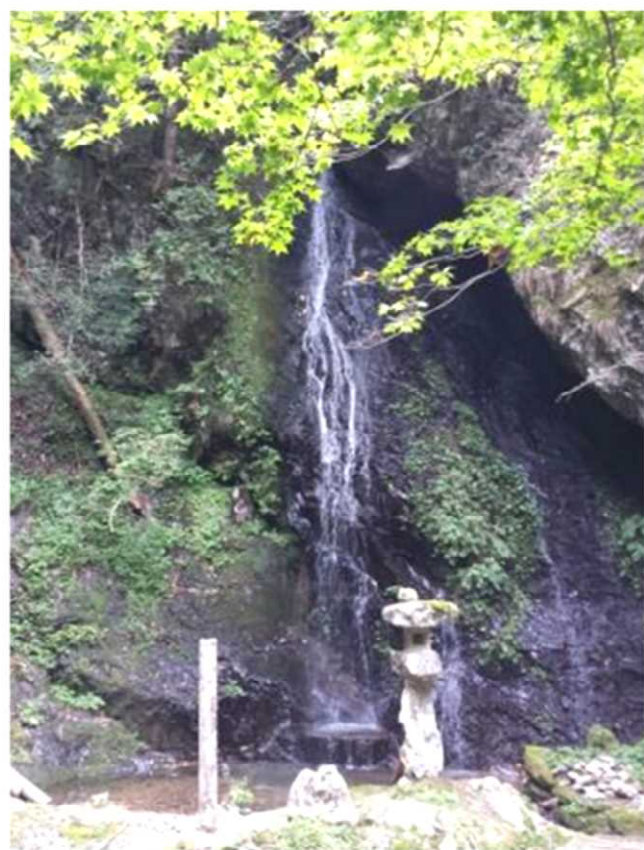


南丹の景観ちょっと情報



【美山町下区】

道の駅 美山ふれあい広場から佐々里峠方面へ、府道38号を進み、知見口の交差点を左に進むと、下区に到着します。下区には、福井県の戦国大名、朝倉氏にまつわる説話が残る「不動尊の滝」や、戦国時代に築かれたといういわれのある山城「下村城跡」、市外の子どもたちが親元を離れて1年間の共同生活を行う「美山山村留学センター 四季の里」があります。今回は、その中から「不動尊の滝」をご紹介します。



ふ どうそん
不動尊の滝



引用：国土地理院「電子地図25000」

【不動尊の滝】

1573（天正元）年、朝倉家一族は一乗谷の戦いで織田家に敗れた後、追手を逃れてこの滝にたどり着きました。そこで、信仰していた不動尊像を滝つぼに安置したところ、滝の上から一筋の光が差し込み、それを頼りに滝を登り、追手から逃れることができたという説話が残されており、現在にも受け継がれています。

滝の水をいただくと暑気に当たらないといわれており、毎年6月28日には、山の神様へ安全祈願と五穀豊穡を願う「不動尊の滝祭り」が開催されます。

また、毎月28日には区民の方たちによる清掃活動が実施されており、周辺は良好な景観が保たれています。

南丹の景観ちよつと情報



【南丹市八木町 水車のある風景】

水車は、農地に水を運ぶための用途のほか、地域のシンボルになり得る工作物であり、日本全国のさまざまな地域で観光振興などに利用されています。また、魅力のある景観を考えた場合、見る者に「なつかしさ」を感じさせる水車は、農村集落の景観形成を構成する重要な要素であると言えます。

南丹市で水車といえば、八木町や美山町を想像されるのではないのでしょうか。今回は、その中でも八木町の美里区、室橋区、山室区の水車のある景観をご紹介します。



①美里区：圃場整備田記念碑付近



②室橋区：文覚堂地内



③山室区：集会所横



★位置図★

南丹の景観ちょっと情報



【園部町 新町通り】

JR園部駅西口から日吉町方面へ向かい、国道9号の高架をくぐってすぐ左手に進むと、新町通りに入ります。

新町通りは、かつての園部城の城下町でもあり、江戸時代には街道の宿場町として栄えました。また、参勤交代の際に諸大名が通る道でもあったため、大名やお供の家来たちの宿泊所であった建物が、当時の趣を残したまま軒を連ねています。

今回は、古い町屋の残る新町通りの景観をご紹介します。



伝統的な意匠を残す建築物



新町通りから本町方面



新町通りの町屋カフェなど

【園部町新町通り】

新町通りでは、かつて宿泊所として使われていた建物が、現在は飲食店や喫茶店、店舗などに形を変えて使われています。

通りに並ぶ昔からの建物には、漆喰壁や焼板、和瓦、ペンガラ（昔からの着色剤）といった、伝統的な住宅や蔵、神社などでみられる素材が使われており、新町通りの景観を形成しています。

これらの建物が形成する景観からは、かつての諸大名の参勤交代の旅や、宿場町の雰囲気などを感じることができます。

南丹の景観ちよつと情報

日吉町畑郷区



【日吉町畑郷区^{はたこう}】

JR胡麻駅から府道50号線を北西に進むと、日吉町畑郷区に到着します。昔ながらの田園風景が広がる畑郷区には、「畑郷農村公園」があります。農村公園内には貸農園が設置されており、利用者の方々は豊かな自然の中で、農作業を楽しむことができます。貸農園には、害獣除けの電柵なども整備されております。畑郷区では、農村公園のほか、下に紹介する蛇ヶ池^{じまがいけ}などの豊かな自然景観が広がっています。



畑郷農村公園



市民農園(貸農園)



蛇ヶ池の眺望

【日吉町畑郷区^{じまがいけ} 蛇ヶ池】

畑郷区には、「蛇ヶ池」と呼ばれる池があります。区内の山の頂上に位置するこの池には、長く続いた日照りを何とかしたいと願った娘の悲しい昔話が伝えられています。水の少ない時期には池に草花が生え、絵に描いたような景色が望めます。また、池はきれいな円形をしており、大昔に隕石が衝突して形成されたのではないかと唱える方もいます。

畑郷区では、地域住民で「畑郷ふるさと村づくり委員会」を組織し、集落の見どころマップの作成、蛇ヶ池などへの案内看板の設置、山中から胡麻^{みょうじんさん}地域を一望できる妙見山の整備、農村公園の植樹などの事業を進められています。

南丹の景観ちょっと情報

美山町 洞区



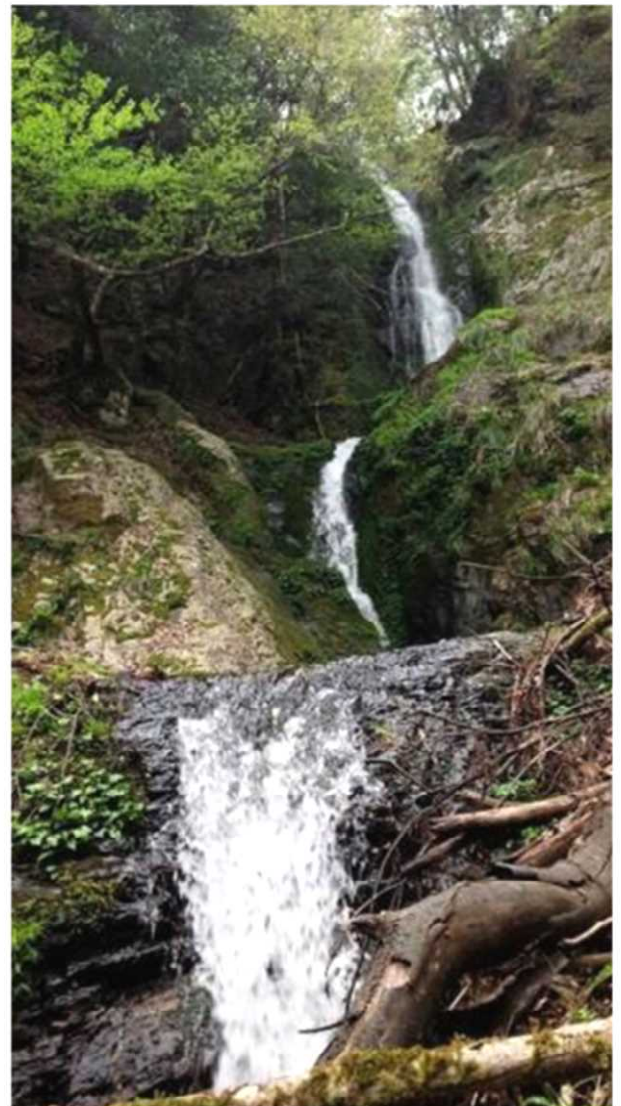
【美山町^{ほら}洞区^{つるがおか}】

美山町^{ほら}鶴ヶ岡^{つるがおか}地域に位置する洞区^{おとだに}では、音谷^{おとだに}の滝や聖ヶ^{しりが}谷^{たに}といった様々な自然の美しさを見ることができます。この地域では、交流事業の一環として、音谷の滝への遊歩道の整備や、歩道橋の設置、あぜ道にウッドチップを敷き詰めたホタル観賞道の整備などを、地域住民の手で実施されました。音谷の滝までは、遊歩道と林道の二つのルートがあり、遊歩道からは滝の正面、林道からは滝を上から見下ろす眺望が楽しめます。

また、聖ヶ谷にも、大小47の滝があるといわれており、林道からその一つを見ることができます。美山町洞区の景観を見に、足を運ばれてはいかがでしょうか。



ホタル観賞道



音谷の滝(正面から)